

令和8年度 学校経営方針

亀山市立神辺小学校

校訓：柳に学べ、優しく、強く

1 学校教育目標

『自ら学び、心豊かにたくましく生きるやなぎっ子の育成』

2 めざす子ども像

＜自ら学ぶ子ども＞

- ・学習に意欲的に取り組み、進んで問題を解決しようとする子
- ・相手の話に耳を傾け、深く考え、自らの思いや考えを表現できる子

＜心の豊かな子ども＞

- ・なかまを大切にし、共に高まろうとする子
- ・郷土の良さをみつめ、美しいものや自然に感動する子

＜心身ともに健康な子ども＞

- ・命の重さを知り、自他を尊重する子
- ・働くことに誇りや喜びをもち、進んで役立とうとする子

3 めざす教職員像

- ①わかる喜びと学ぶ楽しさを実感できる授業づくりに努める教職員
- ②子どもの声や思い・願いを大切にする教職員
- ③家庭や地域との対話を大切にして、信頼関係づくりに努める教職員
- ④研修に励み、自らの力量向上に努める教職員

4 めざす学校像

- ①子どもが安心して楽しく学べる学校
- ②保護者・地域に信頼され、協働できる学校
- ③明るい笑顔と元気な挨拶、美しい花いっぱいの学校

5 めざす保護者・地域像

- ①教職員との相互理解を深め、熱心に子育てする保護者
- ②子どもが夢や希望を持ち故郷として誇れる地域
- ③地域の絆を深め、安心・安全な活動を通して、子どもを愛情豊かに育む地域

6 重点目標

- ① 学力向上を図り、主体的・対話的で深い学びにつながる授業づくりを進めます。
- ② 人権を尊重し、仲間とともにつながり合い、高まり合う集団づくりを進めます。
- ③ 家庭・地域と連携し、健康の増進や体力の向上を図る教育活動を進めます。
- ④ 保護者や地域とともに、神辺地区のよさを活かした学校づくりを進めます。
- ⑤ 教職員の同僚性を高め、働きやすい環境づくりを進めます。

行動計画

①学力向上を図り、主体的・対話的で深い学びにつながる授業づくりを進めます。

(1)子どもが意欲的に、粘り強く学べる授業づくりをする。

- ・神辺小授業スタイルの定着と授業改善
- ・TT 授業等により、よく理解し力を伸ばす算数科の授業を推進する。
【全国学力・学習状況調査、みえスタディ・チェック、学校評価アンケートの評価ポイントアップ】
- ・情報機器の効果的活用（iPad 等の ICT 機器活用）
- ・全校スタディウィークの取組、やなぎっ子交流広場の活用

(2) 思いや考えをわかりやすく表現する力を育てる。

- ・思いや考えが伝わる話し方や書き方の指導を系統立てて行う。
- ・「思考を深める学び合い」の授業づくり
- ・語彙力を増やし豊かな表現力を身に着けることを重視
- ・1年生のひらがな習熟度を向上させ、ことば、表現への関心を持たせる。

(3) 互いの話を聞き合い、考えを深める授業を展開する。

- ・自他の考えを意識できるような視覚化の工夫、I C T機器の工夫、学習のめあての提示等
- ・課題に対する自分の考えの変容をふり返らせる。

(4) 学習環境を整え、望ましい学習規律を確立する。

- ・日常からの整理整頓の徹底ときれいな学校・教室経営・基本的な生活習慣の徹底、学習習慣の確認等
- ・忘れ物なしの取り組み → 家庭との連携、きめ細かな指導等
- ・学びのUD 化の推進
- ・学習ボランティアの有効活用

(5) 学びの土台づくりと、自ら学習する力を育てる。

- ・宿題（算数・漢字・本読み）の徹底、自主学習ノートの取り組み
- ・e ライブラリー、ロイロノートの活用とキュビナの研究
- ・朝、放課後の補充学習の取組 ICT 機器を活用した家庭学習の習慣化（端末の持ち帰り）

(6) 読書量増に取り組む。

- ・学年別目標量の設定 ・図書館司書、ボランティアとの連携 ・国語教材と関連した多読
- ・家庭への読書啓発 ・家庭での週末読書の取り組み

(7) 教職員の指導力・授業力向上およびカリキュラムの見直しを見据え、ベンチマーキングやOJT 研修、外部講師招聘研修に組織的に取り組む。

- ・市内外の先進校の研修会へ積極的に参加
- ・年間を通してのOJT 研修

②人権を尊重し、仲間とともにつながり合い、高まり合う集団づくりを進めます。

(1) 子どもや学級の状態の把握に努め、なかまづくりを進めます。

- ・校内事例検討会、いじめ防止委員会等の開催
- ・児童会を中心とした学校リーダーの育成
→ 縦割り班活動、全校あそび、全校集会、やなぎっこ活動、縦割り班掃除、運動会等
- ・不登校対応としての校内ふれあい教室の整備推進

(2) 人権意識の向上を研修テーマとし、人権感覚あふれる学校づくりを進めます。

- ・発達段階の応じた系統性のある神辺小版人権カリキュラムの構築と実践
- ・先進的な実践に学ぶとともに、子どもたちの実態に応じた授業を構築する。
- ・県事業「こどもサミット」への取組

(3) 子どもどうしがつながり合う活動に取り組みます。

- ・子ども同士が認め合い、つながる授業
- ・日常的に綴る活動、話す活動を取り入れ、自分を見つめ、他者を認める心情を養う。

(4) 特別支援教育推進委員会及び介助員ミーティングの定期開催、情報交流と早期対応をめざす。

- ・ 個別の指導計画、個別の教育支援計画
- ・ 指導方法の研究（先進校視察）
- ・ 特別な支援を要する子の特性を理解する場を設定する。（校内研修、日常的な情報交換等）
- ・ 授業のユニバーサルデザイン化を推進する。
- ・ 個別 SST 集団 SST の実施

(5) 関係機関等との連携のもと、定期的に保護者の教育相談を実施する。

- ・ 通信による発信と啓発・子ども支援G、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等との連携
- ・ いじめ、児童虐待等に係る研修会の開催により専門性を向上させる。

③家庭・地域と連携し、健康の増進や体力の向上を図る教育活動を進めます。

(1) きれいな学校環境をつくる。

- ・ 清掃指導の徹底
- ・ 効果的な掲示物の作成
- ・ 児童の自主的活動の推進による委員会活動の充実

(2) 食育の充実を図る。

- ・ 担任と栄養教諭の連携強化による食育授業の実施【年6回以上】
- ・ 給食委員会を中心とした残飯ゼロ運動の推進

(3) 健康教育の充実を図る。

- ・ 担任と養護教諭の連携による保健授業の実施
- ・ 学校医・学校薬剤師と連携した保健指導【年2回】
- ・ 保健だよりや学校保健委員会の開催による啓発

(4) 体力向上の視点による、体育授業の見直しを進める。

- ・ OJT 研修および外部講師招聘研修による授業改善
- ・ 体力テストの実施と分析、現状と課題の明確化

(5) 体力向上の視点での、特別活動や学校行事の見直し。

- ・ 児童会および体育委員会を中心とした取り組み
- ・ 全校スポーツウィーク等の実施

④保護者や地域とともに、神辺地区のよさを活かした学校づくりを進めます。

(1) コミュニティスクールとして、「開かれた学校」から「地域とともにある学校」をめざす。

- ・ 具体的なテーマを示し、委員の皆様と熟議によって学校運営に助言をいただく。
- ・ 運営協議会での熟議を、具体的な形で学校の運営に生かす。
- ・ 学校運営協議会の議論を地域や保護者に発信し、「地域とともにある学校」を推進する。
- ・ 学校運営協議会委員の授業参観の実施

(2) 子ども・保護者・地域がふれ合い、活動する機会を設定する。

- ・ まちづくり協議会、自治会との連携
- ・ 保育園、地域との運動会
- ・ 文化祭の共同開催

(3) 子どもたちが安全で安心できる環境づくりを進める。

- ・ 神辺の子どもを育てる会・CS 推進委員会、やなぎっ子教室（放課後子ども教室）、花ボランティア、放課後児童クラブ等との連携の強化を図る。

(4) 開かれた学校づくりを進める。

- ・ 神辺小学校ホームページを更新する。
- ・ 学校だよりを毎月、学年通信を毎月発行する

⑤教職員の同僚性を高め、働きやすい環境づくりを進めます。

(1) 教職員の総勤務時間の縮減につとめる。

- ・ 会議の開始時刻と終了時刻の厳守と短縮化（職員会議・全体研修会 90分以内、その他会議 60分以内）
- ・ 定時退校日の設定（月 1 回以上）
- ・ 勤務の状況を職員自ら把握し、任意に設定する。
- ・ 年間超過勤務時間（前年比減）
- ・ 「勤務時間の上限に関する指針」に沿った働き方改革、付随して行事の精選等の業務の見直し

(2) 労働安全衛生体制の整備に努める。

- ・ 学校安全衛生委員会の定期開催と全職員への働きかけ
- ・ 過重労働の実態把握と対応（月 45 時間、年 360 時間を超えない。）
- ・ 日常の勤務における休憩時間の確保に努める。

(3) 教職員の満足度向上に向け、新たな人事評価制度の活用を推進し定期的な面談を実施する。

- ・ 教職員満足度調査の実施とその活用
- ・ 職員の健康の的確な把握および日常対話の推進
- ・ 職員一人ひとりの「ワークライフバランス」の確立に向けた指導・助言・啓発

(4) 「気づきを改善へ」迅速な対応で職場環境の改善を図る。

- ・ 短期的な P D C A サイクルでの学校運営による業務の効率化
- ・ めざす学校像の実現に向けた対話
- ・ 重要度や難易度を考慮した改善に向けた取り組みの実行